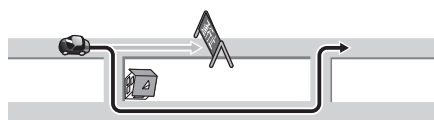


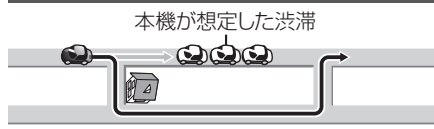
VICS経路探索する



FM VICSの規制情報(通行止めなど)をもとに、規制の場所を避けたルートを探します。(FM VICSの渋滞情報は考慮されません。)

- 別売のVICSビーコンユニット/DSRC車載器を接続すると、電波・光ビーコン/DSRCの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞や規制の場所を避けたルートを探します。
- VICS経路探索する/しないの設定→P.161

渋滞データバンク探索する



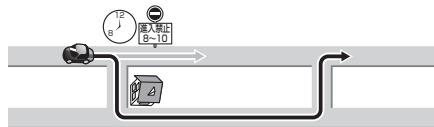
過去の渋滞の状況をもとに渋滞を想定し、その結果を考慮したルートを探します。

- 渋滞データバンク探索する/しないの設定→P.161

渋滞データバンクについて

- 過去のVICS情報などから、年月日・曜日・時間などと渋滞の相関を割り出して作成したデータベースから、将来起こるであろう渋滞を考慮します。
- 渋滞データバンクで探索されたルートを通っても、早く着くとは限りません。

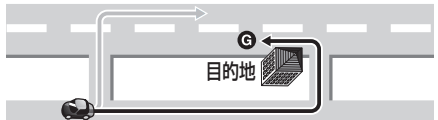
曜日時間規制探索する



月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探します。

- 規制があっても案内することがあります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。
- 規制区間(常時進入禁止区間を含む)を通るルートを探した場合、ルート上にX(黄色)が表示されることがあります。

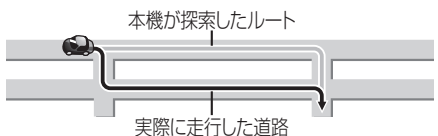
横付け探索する



目的地が中央分離帯のある道路に隣接している場合、施設の前に到着するように(施設が自車の左側になるように)ルートを探します。

- ルートが遠回りになる場合、横付け探索しないことがあります。

インテリジェントルート探索する



インテリジェントルートとは

ルート案内中にルートをはずれて、別の道路(自分が運転しやすい道路など)を走行した場合、数回同じコースを通ると、そのコースが自動的に保存されます。(100件まで)100件を超えると、古いものから自動的に消去されます。

- 同じコースを数回走行しても、下記の場合インテリジェントルートとして記憶されないことがあります。
 - ・立体交差点を通る
 - ・細街路を含む
 - ・らせん状になっている
 - ・道路が上下に重なっている
 - ・複数の道路がすぐそばに平行して通っている

インテリジェントルートが記憶されると、次回その道路付近を通るルートがあった場合、その道路を優先的に通るルートを探します。(インテリジェントルート探索)

- インテリジェントルート探索する/しないの設定→P.161
- インテリジェントルートの内容を確認することはできません。

インテリジェントルートを消去するには

- 1 メニュー画面「データ」(P.28)から「データ消去」を選ぶ
- 2 インテリジェントルート消去を選ぶ
- 3 はいを選ぶ

スマートIC自動利用探索する

スマートICの利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報には考慮されませんが、通行できる車種の情報については考慮されません。

また、ETC車載器/DSRC車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。

- スマートIC自動利用探索する/しないの設定→P.161

お願い

- スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC車載器またはDSRC車載器を搭載していない車両の場合は、スマートIC自動利用探索を「しない」に設定してください。
- スマートIC自動利用探索の設定(P.161)に関わらず、スマートICを入口/出口IC(P.56)または経由地(P.55)に設定すると、スマートICを通るルートが探索できます。

細街路探索する



通常、ルート探索は、道幅5.5 m以上の道路を対象に行いますが、出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探します。

- 走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。
- 細街路を通るルートの色→P.38

ルート案内中のVICS経路探索(スイートルート案内)

FM VICSの規制情報(通行止めなど)を受信すると、規制を考慮したルートに変更します。(FM VICSの渋滞情報は考慮されません。)

- VICS経路探索する/しないの設定→P.161
- ルートが変更されたときは、「規制情報が変わりました。新しいルートでご案内します。」と音声案内します。
- 別売のVICSビーコンユニット/DSRC車載器を接続すると、電波・光ビーコン/DSRCの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞や規制の場所を避けたルートに変更します。(DRGS: ダイナミックルートガイダンスシステム)
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。

ルート案内中の曜日時間規制探索

ルート上の自車位置周辺の道路の月・曜日・時間による規制を常に確認し、規制を考慮したルートに変更します。

- 規制があっても案内することがあります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。
- 規制区間(常時進入禁止区間を含む)を通るルートを探した場合、ルート上にX(黄色)が表示されることがあります。

ルートからはずれたとき(オートリルート)

ルートをはずれても、自動的に再探索します。

- 一部の細街路では、オートリルートされない場合があります。
- オートリルートする/しないの設定→P.161